

**【施策評価調査】**

施策名	5-1-3	体験(自然・社会・生活)学習の充実		施策目的	高根沢町の将来を担う小中学生に職場体験や臨海自然教室等の体験の場を提供し、勤労感や職業観、仲間意識や思いやりの心を培い、将来にわたっての生きる力を育む。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ	115		
担当部課	教育部 こどもみらい課	担当	学校教育	施策内容	総合的な学習の時間*や職場体験活動等を通して、協働・互助の精神や勤労観・職業観を養い、将来の自立を支援します。また、地域人材の活用を図るとともに、地域住民や学校支援ボランティアとの交流・連携を推進します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	阿久津 正		
環境変化					

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：年間体験学習時間数(時間)	平成16年度	計 画	612時間	612時間	612時間	612時間	612時間
	569時間	実 績	612時間	612時間	612時間		
指標：		計 画					
		実 績					
指標：		計 画					
		実 績					
指標：		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当 初	1,464,000	3,162,000	2,268,000	2,201,000	
	決 算	1,150,250	2,018,574	2,038,067		

**専務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
マイチャレンジ推進事業費	H21 現計 130,000	参加生徒数(21年度中学2年生見込数) 303人	実際の職場において、それぞれの業務等を体験することにより、働くことの大切さを理解し、勤労観や職業観の培い、将来にわたっての生きる力を育むことができる。	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H22 計画 136,000				
自然教室事業費	H21 現計 1,208,000	参加児童数(22年度小学5年生見込数) 280人	自然教室事業を実施することにより、児童相互の人間関係を深め、豊かな心の醸成と学習活動の充実を図ることができる。	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H22 計画 1,092,000				
体験農場事業費	H21 現計 863,000	参加児童生徒数(22年度児童生徒見込数) 2,587人	各学校において、農業体験を通して作物を育てる楽しさや、収穫の喜び、生きるものの力を実感し、自ら生産した作物を食べることによって、食の大切さや地産地消への理解を醸成することができる。	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H22 計画 884,000				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	今後の方向性	後期計画に向けた施策展開のビジョン	H22年度の狙い
	現状水準維持	従来どおり体験を通じて「生きる力」を育む事業を展開することとするが、地産地消、食育については更に一歩踏み込んで事業展開することから、体験農場事業を充実・発展させることとしたい。	現在ある資源を有効利用することしながら、前年度並みの予算で新たな事業を展開したい
総合評価		後期計画に向け、これまでの事業内容を精査した上で、児童生徒が「体験」することに対し、教育委員会として独自の色を出していくのか、同じような事業を行う、生涯学習課、産業課、環境課等に役割を任せるとの関係課と整理、調整された施策展開を検討すること。	